

総合商社の使命——丸紅

北京師範大学学生代表

見学日時：2017年12月1日（金） 16:00-19:30

見学場所：丸紅株式会社

見学概要

期せずして皆がとても大きなエレベーターに驚くところから丸紅での見学が始まった。

訪日団と丸紅双方の責任者が名刺を交換し紹介を行った後、丸紅の市場業務部部长からの歓迎の挨拶があった。その中では市場業務部の主な業務についての紹介と、「丸紅としてのこれまでの走近日企活動の推進における貢献」という点について彼らの今回の活動への重視、中国市場への重視、及び今後の経済そして交流における提携継続への期待と展望についてのお話があった。

挨拶の後、皆は丸紅の会社紹介 DVD を鑑賞し、経済と産業の発展維持という総合商社としての同社の使命について知ることができた。その後、皆は丸紅経済研究所のシニア・アナリストである李雪蓮女史による講座に耳を傾けた。

李雪蓮女史からは「総合商社とは何か」という点から、総合商社の概況、経営戦略及び丸紅の中国における発展の状況について順に紹介があった。その紹介を通じ、皆は総合商社の変遷、業務種別、丸紅のバリューチェーン戦略、リスクマネジメント、ポートフォリオマネジメント、経営体制の改善及び中国における組織の設置、重点業務分野そして主なプロジェクト、企業投資等についておおよその理解をすることができた。その後の質疑応答のコーナーでは、数名の学生が李雪蓮女史と「企業投資の型式」、「リスクコストの確定」、「国際合弁プロジェクトにおける役割」等の問題について踏み込んだ討論をした。

講座の後、皆は懇親会の会場に移動した。懇親会では双方の代表者による挨拶の後、学生等は丸紅のスタッフと交流を図り、楽しいそして視野が広がる夕食のひと時を過ごした。



なぜですか？

問：丸紅は通常どのような方法で投資を行うのか？内部の部門が担当するのか？それとも専門の子会社を設立するのか？或いは他社に委託するのか？また丸紅の投資における資金源は？

答：これはケース・バイ・ケースであり、私たちは具体的状況に基づき、特定のプロジェクトについて内部評価を行い、その後会社を設立するのか或いは企業を買収して行うのかを選択し、本部のスタッフを派遣して管理している。資金源については、「内部資金(75%)+銀行融資(融資金利が低い日本政策投資銀行)」で、必要時には新株発行も行う。

問:丸紅の管理部門によるプロジェクトのリスク予測は独立して行われているのか?それとも外部のリスク予測会社、データ会社などを通じ行っているのか?ベンチャーキャピタルの基本的プロセスは?

答:リスク管理については当然外部の力が必要になる。まず私たち内部の関連スタッフは20名に満たず、さらに現在では外部のリスク評価企業の多くが素晴らしい実績を示している(中国、アメリカ等)ため、私たちとしては彼らの力を完全に利用することができる。ベンチャーキャピタルについては、私たちは国のリスク格付けやその業界のリスク格付けを参考に、さらに企業自身及びそれらとの関係性を考慮する。私たち内部の業務としては、外部から提供された評価や完成した製品が丸紅の要求に合致しているかどうかの評価と検査である。

感想

丸紅の見学をする前は、私たち自身総合商社の概念についてほとんど理解をしていなかった。そうした中、紹介により丸紅の事業内容が農業、機械、化学等様々な分野に及んでいることを、私たちは驚きを以って知った。小さなものでは穀物や食品、大きなものでは機械やエネルギーなど、これらはいずれも丸紅の生産そして投資の対象である。

同社について私たちが印象深かった点は二つある。一つめは丸紅のベンチャーキャピタルへの高い要求で、彼らは利益が20%以上のプロジェクトしか行わない、つまりとても強いリスク管理の意識を有している。二つめは丸紅の企業としての社会的責任感である。彼らは「社会貢献と環境保全活動に積極的に取り組む」ことを基本方針とし、利益を追求すると同時に社会にとって有益な企業となるべく取り組んでおり、非常に高い社会的責任感を有している。

丸紅への訪問では多くの収穫が得られた。企業が成功する上での内在的理由を知った他、講座での質疑応答そして懇親会における同社社員との交流等を通じて多くの知識が得られ、彼らの体験や経験について知るなど私たちとしても得るものがとても多かった。